

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
理科	化学基礎	2	1年 普通科	必履修	高等学校 化学基礎 (第一学習社)	

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 化学の学習内容が日常生活や社会と関わりが深いことを知り、身近な物質とその変化への関心を高めるとともに健康で安全な生活を送るために欠かせないものであることを理解する。 化学の基本概念や原理・法則を具体的な物質の性質や反応と結び付けて理解し、それらを発展的に活用する能力を身に付ける。 物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化を微視的にとらえる見方や考え方を養う。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 <ul style="list-style-type: none"> 化学に関する基本的な原理・法則を理解し知識を身につけている。 さまざまな物質の性質や反応を理解し、実験を行うことができる。
	「思考・判断・表現」 <ul style="list-style-type: none"> 化学に関する現象の中に問題を見出し、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現できる。
	「主体的に学習に取り組む態度」 <ul style="list-style-type: none"> 授業に積極的に参加し、授業に関しての発言や質問ができる。 授業プリントやノートを書けている。 身の回りの化学に関する現象に関心をもち、意欲的に探究しようとする態度があり、また、科学的な見方や考え方を身につけている。
評価の方法	「知識・技能」 授業プリントの内容、定期考査、小テスト等で判断・評価する。
	「思考・判断・表現」 授業プリントの内容や定期考査で判断、評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 授業への取り組みや授業プリントの内容で判断、評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	序編 化学と人間生活 化学が物質を対象とする科学であることを理解し、化学が人間生活に果たしている役割を学習する。 第Ⅰ章 物質の構成 ・第1節 物質の成分と構成元素 ・第2節 原子の構造と元素の周期表 物質の分類、成分の構成粒子について学習する。 中間考査 第Ⅰ章 物質の構成 ・第3節 物質と化学結合 粒子の結びつき方について学習する。 期末考査
2 学期	第Ⅱ章 物質の変化 ・第1節 物質と化学反応式 原子・分子の量的扱い、化学反応における量的関係について学習する。 中間考査 第Ⅱ章 物質の変化 ・第2節 酸と塩基の反応 酸・塩基の基本的性質、中和反応について学習する。 期末考査
3 学期	第Ⅱ章 物質の変化 ・第3節 酸化還元反応 電子のやりとりについて学習する。 終章 化学が拓く世界 身の回りに利用されている科学技術を通して、化学の役割や新たな世の中の問題について考える。 学年末考査

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--